



World Conference on Disaster Reduction
18-22 January 2005, Kobe, Hyogo, Japan

Title	Disaster Reduction and Information Forum “Is Information Capable of Saving People?”
Organizations	Disaster Reduction and Information Forum Executive Committee
Speakers	藤本和弘（兵庫県副知事）河田恵昭（京大教授・人と防災未来センター長）室崎益輝（消防研究所理事長）グレース・コッチ（米国カリフォルニア州防災服局長）中村功（東洋大学教授）森本章夫（神戸新聞論説委員長）
Report	巨大地震など大規模災害は突然に人を襲う。人々は大混乱に陥り適切な行動が取れない場合が多い。行政も情報収集が難しく全体像が把握できない、適切な対策が講じられず、救命・救急活動も混乱を極める。また、大規模災害ほど二次災害の危険も大きい。「被害を減ずるための情報とは」「緊急時に情報がどんな機能を果たせるか」との視点から、災害時の情報収集のあり方、収集した情報の適切な活用策、被災者への有効な情報発信の内容と方法—などをハード、ソフトの両面から議論した。阪神・淡路大震災の体験が新潟中越地震や台風23号の水害被害でどう活かされたか議論された。
TEL	078-362-7010
FAX	078-360-5514